

明日の劇場へ

into

【イントゥ】

三人姉妹



兵庫県立ピッコロ劇団第73回公演

「三人姉妹」

兵庫県立ピッコロ劇団後援会
ピッコロサポートクラブ機関誌

2022.6

vol. 77

Contents

兵庫県立ピッコロ劇団第73回公演

「三人姉妹」

1

兵庫県立ピッコロ劇団ファミリー劇場

「飛んで孫悟空」

5

兵庫県立ピッコロ劇団第74回公演

「から騒ぎ」

6

兵庫県立ピッコロ劇団第75回公演

ピッコロシアタープロデュース

「三文オペラ」

7

ごあいさつ

8

ピッコロサポートクラブ

10

ピッコロシアター催物／学校／資料室

12

劇団員あれこれ

14

シリーズ探訪41

「貸館バック…ホール?練習室?…

シアターツアー!」

20



ピッコロシアター／兵庫県立ピッコロ劇団

〒661-0012 尼崎市南塚口町3丁目17番8号

Tel:06 (6426) 1940 Fax:06 (6426) 1943

<https://piccolo-theater.jp>

NEW!

2022年3月 大学新校舎(愛称: 欒和館)完成

けやきなかん



- 園田学園女子大学
 - 人間健康学部 総合健康学科 / 人間看護学科 / 食物栄養学科
 - 人間教育学部 児童教育学科
 - 経営学部 ビジネス学科
- 園田学園女子大学短期大学部
 - 生活文化学科 / 幼児教育学科
- 園田学園高等学校
 - 特別進学コース / 進学コース / 総合コース
- 園田学園中学校
- 園田学園女子大学附属園田学園幼稚園
- 園田学園女子大学附属学が丘幼稚園

地域とともに歩む

学校法人園田学園

〒661-0012

兵庫県尼崎市南塚口町1-24-16

TEL: 06-6427-7848

FAX: 06-6427-7250

<http://www.sonoda-u.ac.jp>

三人姉妹

兵庫県立ピッコロ劇団第73回公演
作: A. チェーホフ
翻訳・演出: 島守辰明(ピッコロ劇団)



地方都市に派遣された
駐屯軍の将軍と、
その三人の娘たち、一人息子。
将軍が逝去して一年経った日から、
家族、そして周りの軍人たちに
変化が起こる……。

2022年7月

16日(土) ※16:00
17日(日) 11:00/※16:00
18日(月祝) 14:00
20日(水) 18:30
21日(木) 14:00
22日(金) 18:30
23日(土) 14:00
24日(日) 11:00/16:00
26日(火) 14:00
27日(水) 14:00

ピッコロシアター中ホール

※高校生団体鑑賞のため事前予約受付なし。
当日券の有無は後日発表します。

整理番号付き自由席

一般 3,500円

大学生・専門学校生 2,500円

高校生以下 2,000円

<チケット取り扱い>

■teket <https://teket.jp/2624/12039>

■チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (WEBのみで取り扱い)

■メール gekidan-p@hyogo-arts.or.jp (タイトルを「三人姉妹」としてください)

記入事項 ①予約者氏名 ②電話番号 ③郵便番号 ④住所 ⑤観劇日時

⑥券の種類 ⑦枚数 ⑧観劇する方全員の氏名

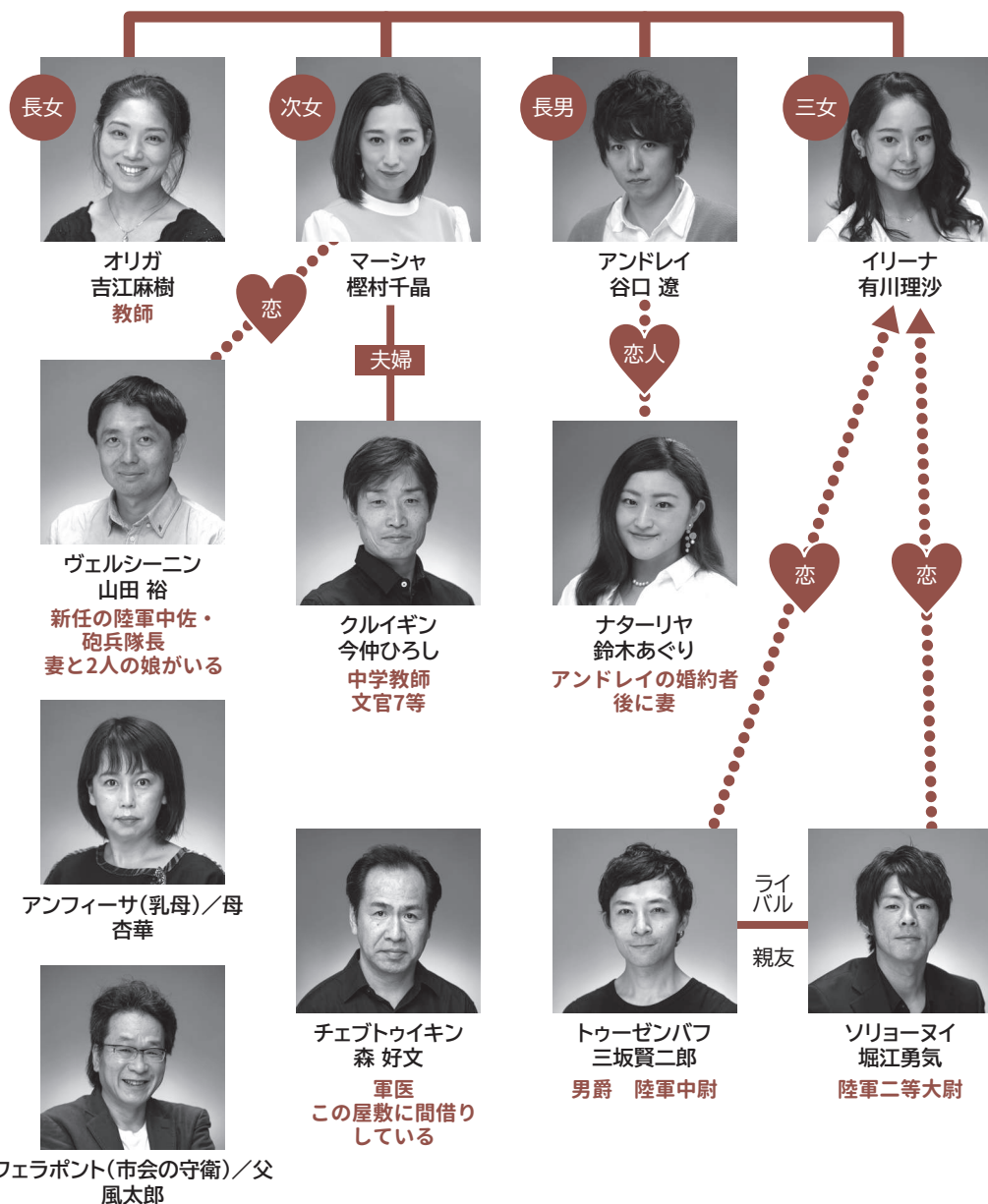
※1週間以内に返信がない場合はお問い合わせください。

■ピッコロシアター窓口/電話 06-6426-8088 (9:00~21:00 ※月曜休館、祝日の場合は翌日)

主催 兵庫県立尼崎青少年創造劇場

■『三人姉妹』人物相関図

姉妹・兄弟

翻訳・演出
島守辰明に
聞く！

◎『三人姉妹』との縁

20年以上前にロシアの演出家によるワークショップで題材だった『三人姉妹』のトゥゼンバフ男爵役を演じました。これがチェーホフ作品との出会いでした。その後モスクワへ渡りマールイ劇場で最初のテーブル稽古から10か月のあいだ『三人姉妹』の稽古に立ち合いました。『三人姉妹』とはずっと縁があったんです。ピッコロ劇団でいつ取り組むか、いつ作るか、とずっと考えていました。

◎ チェーホフ作品の翻訳について

日本で出版されているチェーホフ作品の翻訳は、もちろんですが読みものとして訳されています。句読点(「、」や「。」)を原文より多く入れて文章を区切ったり、語順を入れ替えたり。さらに翻訳者の解釈として階級など人物のバックグラウンドも加味して、どこか持って回ったような言い方になりがちだと感じていました。

本来ロシア演劇のせりふは言文一致に近く、現代のロシア人がしゃべっている話し言葉とあまり変わりません。そしてチェーホフの原文には点(、)が多くて、なかなか一文が終わらないような、まだ言い足りないというセリフが多いんです。たとえば3ページに及ぶ長台詞でも、文章としては4つだけだったり。この句読点の位置が俳優に与えてしまう影響は甚大なんです。

チェーホフ自身、戯曲が読み物になることを期待してはいませんでした。言葉にならない考えをもって俳優が口にすることを求めている。原語と同じ句読点の位置、文章の順番にすることで、チェーホフの意図により近づけるのではないかと思います。

◎「語らない」演劇の読み方

ロシアでチェーホフが近代演劇の先駆者とされるのはなぜでしょうか。そのひとつに「間」を書いたことがあります。それはただ停止したブランク(余白)ではなく、登場人物の考えが絶えず心の中で動いていて、言葉にならない「間」です。シェイクスピア作品のような「いかに言葉を美しく語るか」という演劇ではなく、言葉にならないものを描くということを始めたんですね。そこが新しかった。戯曲の書かれ方が明確に変わったんですね。

だから、チェーホフ作品は言葉だけ追っていると間違えてしまう。裏読みしていくだけでは作者の意図からどんどん離れて行ってしまう、そんな戯曲です。

頭の中で考えていることはあるけど、口では違うことをしゃべっている、現実でもよくあることですよね。そこに人物の気遣いや性格が表れる。「いかに書かれていないか」を考えて、登場人物の考えから読み解いていくと理解できます。

◎ チェーホフ作品の魅力とは

チェーホフについてよく誤解されてしまうのが、晩年の髭と眼鏡の写真を見て年寄りなんじゃないかということ。しかしチェーホフは結核で44歳で亡くなっていて、その作品の多くは30代のうちに執筆されました。『桜の園』の執筆の頃になると、チェーホフは体を悪くして1日1行しか書けなかったといいますが、四大戯曲が書かれた最後の10年、医者だった彼としては死期からの逆算で書いてました。そんな人が書いた作品だから、やはり無駄なことは1行も書いていない。チェーホフ作品は老成した「文豪」ではなく、まだまだ若い作家が熱量をもって書いたものです。そのエネルギーをぜひ感じてほしいです。



美術＝柴田隆弘 照明＝竹内哲郎((株)ハートス) 音響＝Alain Nouveau 衣裳＝木場絵理香
演出助手＝木之下由香 舞台監督＝政香里沙 演出部＝木下鮎美 チラシデザイン＝中島深志
制作＝新倉奈々子、大西岳音 制作助手＝今井佐知子

※やむを得ない事情により出演者などが変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。



作 A.チェーホフ (アントン・パヴロヴィチ・チェーホフ 1860-1904)
商人の家に三男として生まれる。学生時代からユーモア小説などを書き始め、家族を養いながらモスクワ大学医学部を卒業。すぐれた短編や中編小説を世に送り出す一方で、戯曲の執筆にも取り組んだ。晩年には代表作である四大戯曲『かもめ』『ワーニャ伯父さん』『三人姉妹』『桜の園』を発表。近代演劇に大きな影響を与えた。



翻訳・演出 島守辰明

東京都生まれ。2003年から3年、ロシア国立モスクワ・マールイ劇場及び附属シェーパキン演劇学校にて研修。2006年ピッコロ劇団入団。ピッコロ劇団での主な演出・翻訳作品に、『ワーニャ伯父さん』『私のかわいそうなマラート』『喜劇 かもめ』『長い墓標の列』『もういちど、鴨を撃ちに』など。そのほか劇団神戸など外部での演出も手がける。ピッコロ演劇学校では研究科主任講師を、新国立劇場演劇研修所や近畿大学、関西学院大学などでは非常勤講師をつとめる。平成28年度尼崎市民芸術賞受賞。

ピッコロ劇団 過去のチェーホフ作品の上演

右:2008年第32回公演
『桜の園』
台本・構成・演出=松本 修

左下:2010年オフシアターVol.23
『ワーニャ伯父さん!』
翻訳・演出=島守辰明

右下:2016年オフシアターVol.32
『喜劇 かもめ』
翻訳・演出=島守辰明



2022ピッコロフェスティバル特別企画

兵庫県立
ピッコロ劇団
ファミリー劇場

別役 実
大モリヲル

飛んで孫悟空

作:別役 実
演出:平井久美子(ピッコロ劇団)
音楽:橋本 剛



2014年『飛んで孫悟空』より

「みんなまだへたばっチャ駄目ですよ。旅は今、はじまったばかりなんですから…。」
はるが昔の物語「西遊記」を思いながら、シルクロードを旅する現代のツアー客一行。
そこに現れたのは、あの三蔵法師。おなじみの孫悟空、猪八戒、沙悟浄のお供たちも従えて、
奇想天外な冒険の旅。はじまり、はじまり。

出演



三蔵法師 吉村祐樹 孫悟空 三坂賢二郎 猪八戒 風太郎 沙悟浄 今仲ひろし 前足 堀江勇気 後足 菅原ゆうき 女1 (ツアー・コンダクター) 客1 (少年) 櫻村千晶 車 貴玲



客2 (若い女) 客3 (中年の男) 姉 シーリン・娘1 妹 ユーリン・娘2 サバク賊1 サバク賊2 サバク賊3 サバク賊4 竜・男1 鈴木あぐり 孫 高宏 橋 義 有川理沙 岡田 力 木村美憂 木之下由香 谷口 遼 浜崎大介

※やむを得ない事情により出演者などが変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

〈スタッフ〉

美術:加藤登美子 照明:血袋誠路(㈱ピーエーシーウエスト) 音響:Alain Nouveau、横田和也(ARTS Inc.) 振付:福島直美
衣裳:大野知英 歌唱指導:中島恵美 演出助手:森 好文 演出部:岡島大祐、木下鮎美、中島深志 舞台監督:政香里沙
制作:河東真未、生田祥太 宣伝美術:風太郎 字幕:眞山直則、菅原ゆうき 鑑賞サポート:古川知可子、新倉奈々子

2022年 8月6日(土)11時★/15時 7日(日)11時/15時 ※開場は開演の45分前

★6日(土)11時の公演は、聴覚に障害のある方・聴こえづらい方にも楽しんでいただけるよう舞台の両サイドに日本語字幕が付きまます。

ピッコロシアター 大ホール 〒661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町3-17-8

チケット予約開始 6月26日(日)

全席指定 一般 2,500円 高校生以下 1,500円 セット券 (一般+高校生以下) 3,500円 (税込)

※3歳以上有料。3歳未満でもお席が必要な場合は有料。

チケット取り扱い

■ピッコロシアター窓口/電話 06-6426-8088 (9:00~21:00 ※月曜休館、祝日の場合は翌日)

■メール gekidan-p@hyogo-arts.or.jp (タイトルを「飛んで孫悟空」としてください)

記入事項 ①予約者氏名 ②電話番号・住所 ③観劇日時 ④券の種類・枚数 ⑤観劇する方全員の氏名
※1週間以内に返信がない場合はお問い合わせください。

■チケットぴあ <https://t.pia.jp> ■ローソンチケット <https://l-tike.com> ■e+ (イープラス) <https://eplus.jp>

※いずれもWEBのみで取り扱い

申し込みメール起動



主 催:兵庫県立尼崎青少年創造劇場
後 援:兵庫県教育委員会、尼崎市教育委員会、伊丹市教育委員会、西宮市教育委員会

兵庫県立ピッコロ劇団第74回公演

から騒ぎ

作：シェイクスピア
翻訳：喜志哲雄〈岩波文庫刊〉
演出：鶴山 仁（文学座）

これぞシェイクスピア恋愛喜劇！
喜志哲雄新訳を、鶴山 仁 × ピッコロ劇団タッグで上演

かたや顔を合わせれば舌戦とまらず、
かたや両思いにもかかわらず悪事に翻弄される、二組の男女。
彼らの恋の行く末は一？

2022年10月6日(木)～10月10日(月祝)ピッコロシアター 大ホール



〈出演者〉



ドン・パドロー 橋 義
ドン・ジョン/墓守 吉村祐樹
ベネディック 岡田 力
クロードイオー 三坂賢二郎
コンラッド 谷口 遼

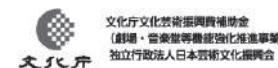


ボラーチオー 堀江勇気
レオナートー 森 好文
アントーニオー 今仲ひろし
ヒーロー 櫻村千晶
ベアトリス 森 万紀
マーガレット 亀井妙子



アーシュラ 有川理沙
修道僧フランシス 平井久美子
ドグバリー 孫 高宏
ヴァージス 風太郎
夜警Ⅰ/使者 浜崎大介
夜警Ⅱ(シーコール) 木村美憂

出演俳優募集



兵庫県立ピッコロ劇団第75回公演/ピッコロシアタープロデュース

三文オペラ

作=ブレヒト(谷川道子訳 光文社) 台本・演出=松本 修(MODE)

ピッコロシアタープロデュース第14弾は、松本修×ピッコロ劇団×関西俳優陣で
挑むブレヒトの傑作「三文オペラ」！
ピッコロ劇団員とともに、舞台づくりに参加していただける俳優を募集します。

日程 2023年2月17日(金)～19日(日) 5回公演
会場 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール(阪急西宮北口)

■応募資格

- ①関西を中心に活動している18歳以上の俳優。〈若干名〉
- ②2023年1月上旬からの稽古(尼崎・日中～夜間)～2月19日の上演(西宮)までの全日程に参加できる方
- ※未経験者は応募不可 ※出演者には規定の出演料を支給(交通費込み)

■審査概要

- 【1】1次審査(書類審査・作文)
〈作文課題〉以下の①または②いずれかのテーマを選び、400字以内で述べてください。
①ブレヒト作品に出演したい理由
②「三文オペラ」の何に惹かれるか
- 応募書類受付2022年7月15日(金) 必着 可否結果は各応募者に郵送等で通知

- 【2】2次審査(演技・歌唱・舞踊) 1次審査合格者のみ2次審査を受験
日時：2022年8月10日(水) 12:00 ～
※集合時間は前後する可能性があります。
会場：ピッコロシアター

■応募方法

所定の応募用紙を、ピッコロシアターホームページからダウンロードしてください。
(ダウンロードができない場合は、ピッコロ劇団あてにご請求ください)
必要事項を記入の上、ピッコロ劇団まで郵送またはご持参ください。FAX・メール不可。
※応募用紙の記入事項は今回のオーディションでのみ使用。応募用紙は返却いたしません。

■応募先・問い合わせ

兵庫県立ピッコロ劇団「三文オペラ」出演俳優オーディション係
〒661-0012 兵庫県尼崎市南塚口町3-17-8
TEL 06-6426-8088(劇団直通) FAX 06-6426-1943 <https://piccolo-theater.jp>
※9:00～21:00 月曜休館(祝日の場合は翌日)

退任・就任あいさつ

2021年12月末に藤池 俊が相談役を、2022年3月末に大鳥裕士が館長を退任いたしました。
2022年4月より林 隆之が館長に就任いたしました。

〈退任〉



ピッコロシアター 相談役 藤池 俊

館 長 2002年4月～2012年3月末
相談役 2012年4月～2021年12月末

2002年館長就任以来、約20年ピッコロシアターでお世話になりました。思い出は語りつくせない程ありますが、中でも稽古場に入り、劇団員と時間と空間を共有しながら、完成した舞台と観客の反応を想像するのが至福の時でした。また、相談役退任の際、職員、劇団員の皆さんのメッセージを全紙大のパネルにして手渡されたのには大感激で宝物として大切にします。

劇団は公演活動では昨年待望の文化庁芸術祭大賞を受賞し、指導面でも実績を重ねるなど着実に成長していることを実感しています。今後の更なる発展を楽しみにして、応援し続けたいと思っています。



ピッコロシアター 館長 大鳥裕士

館 長 2012年4月～2022年3月末

2022年3月をもって館長職(2012年4月～)を退任しました。ピッコロ劇団による創作発信との係わりは、第43回公演「博多小女郎波枕」から第72回公演／ピッコロシアタープロデュース「脚気にしやがれ！」までとなりました。

この間、様々な体験し、多くの刺激を受けながら、ファミリー劇場のアピールやアウトリーチ活動の充実にも努めてきました。それらの過程でサポートクラブの皆様方からいただいたご支援ご協力には心から感謝しています。誠にありがとうございました。ピッコロの歩みはこれからも続きます。さらなるご支援ご協力よろしくお願いいたします。

〈就任〉



ピッコロシアター 館長 林 隆之

4月1日に大鳥前館長の後任としてピッコロシアター館長に就任いたしました林です。コロナ禍は、改めて芸術文化の存在意義やあり方を問いかける契機となりました。WEB配信などコロナ禍で加速した取組みもある一方で、生の舞台芸術の持つパワーや魅力が再評価されたのではないのでしょうか。ピッコロシアターでは、今後とも、「赤ちゃんからシアターまで、劇場はみんなの広場」を目指して、これまでの取組みを発展させ、感染対策に万全を期しながらさまざまな公演や事業をお届けしてまいります。皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

自動車整備のことなら……

サトウオートサービス

◆営業時間◆ 午前9時～午後6時

〒661-0978 尼崎市久々知西町1-4-4

☎ 06-6420-8972(代)



ヤマハサウンドシステム株式会社

感動空間を創造する
プロフェッショナルカンパニー

KOBE INTERNATIONAL STAGE SERVICE

KISS

神戸国際ステージサービス株式会社
—神戸国際会館グループ—

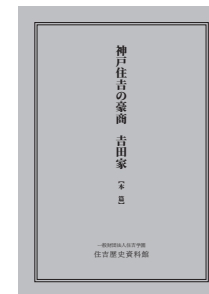
イベントの総合企画・制作・運営
照明・音響・舞台美術の設計と操作
映像の制作及び収録・配信
会場の設備及び舞台装飾
看板の企画・制作
舞台機材の総合設計および施工 その他
<http://www.kiss4u.co.jp>

本社
〒651-2228 神戸市西区見津が丘1丁目16番地の2
☎総機 078-994-1655
☎総機制作 078-994-5133
☎企画 078-994-5933
☎舞台・照明・音響・映像 078-994-9122
☎エレクトリック 078-994-9122
☎舞台機材 078-994-9335

西三ツツ
〒651-4087 神戸市中央区御幸通8丁目1番6号 神戸国際会館13階
☎営業制作 078-230-3310

東三ツツ
〒610-0027 姫路市駅前町232番地 しらす駅前ビル3階
☎ 079-273-6777

みるめ書房
078-871-0551



古来より神戸住吉の地で
民衆を導いた豪商一族
吉田家の軌跡を追う

神戸住吉の豪商
吉田家

新刊

Panasonic

メンテナンスからリニューアルまで
最適な舞台・スタジオ照明設備環境を
ご提供致します。



景観・
スポーツ
照明

サイン
設備

演出
設備

パナソニックLSエンジニアリング株式会社 近畿支店
〒540-0001 大阪府大阪市中央区城見2-1-61 OBP/パナソニックタワー9F
TEL(06)6910-0177

Stage Sound Lights
Engineering&Equipment
Event Plan&Management
<http://www.pacwest.co.jp>

**PAC
WEST**

ほりべ運送株式会社

※小さな単身引越し 室内の家具移動 大きな事務所移転
楽器類や催し物の備品類移動まで

TEL : 0120-88-1290

FAX : 06-6428-0035

お見積もりは無料です!
まずはご相談して下さい

ピッコロ劇団 今後の公演ラインナップ

A・J・特別・法人会員は、下記の「対象公演」から年間3本の公演をお選びいただき、種別・口数に応じてご招待します。

対象公演	7月	第73回公演 三人姉妹	作=A.チエーホフ 翻訳・演出=島守辰明(ピッコロ劇団)	ピッコロシアター 中ホール
対象公演	5・6月 8月 12月	ファミリー劇場 飛んで 孫悟空	作=別役 実 演出=平井久美子(ピッコロ劇団) 音楽=橋本 剛	8月 ピッコロシアター 大ホール 12月 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール ※ピッコロわくわくステージ (中学生団体鑑賞)としても上演
対象公演	10月	第74回公演 から騒ぎ	作=シェイクスピア 翻訳=喜志哲雄 演出=鶴山 仁(文学座)	ピッコロシアター 大ホール
対象外	10~11月	おでかけステージ タラレバ幽霊と タカラの山	台本=谷口雅美、 原 竹志(ピッコロ劇団) 演出=原 竹志(ピッコロ劇団)	ピッコロシアター 大ホール 兵庫県内の小学校 ※小学校の団体鑑賞公演のため、一般の方はご覧いただけません。
対象公演	2023年 2月	第75回公演/ピッコロシアタープロデュース 三文オペラ	作=プレヒト(谷川道子訳 光文社) 台本・演出=松本 修(MODE)	兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

NEWS

■第24回関西現代演劇俳優賞 大賞 受賞 三坂賢二郎

2021年の1年間に行われた関西の劇団、及びプロデュース公演に出演した関西の俳優を対象として、年間のベストアクターを選出する関西現代演劇俳優賞(現代演技論研究会主催)。第24回の今回は三坂賢二郎が大賞を受賞しました。
兵庫県立ピッコロ劇団第69回公演/ピッコロシアタープロデュース「波の上のキネマ」俊介・俊英役「もういちど、鴨を撃ちに」ジメ役「スカパンの悪だくみ」スカパン役の左記3公演において、誠実に安定した演技にとどまらず、役を通してあふれ出る役者個人としての魅力を評価されての受賞となりました。



(左から)ともに大賞を受賞した、橋本浩明さん、梅田千絵さん(関西芸術座)、三坂賢二郎

■ピッコロ・山根演劇賞

演劇を愛し、演劇人の育成に長年努めた 故 山根淑子館長の名を遺す、「ピッコロ・山根演劇賞」。昨年度最も活躍した劇団員に贈られる賞で、吉江麻樹と橋義が受賞しました。



■照明家・竹内哲郎さん受賞

ピッコロ劇団オフシアターVol.37「もういちど、鴨を撃ちに」(2021年4月上演)で照明を担当いただいた竹内哲郎さんが、本公演の照明デザインで 第41回公益社団法人日本照明家協会賞<舞台部門>奨励賞を受賞されました!



ピッコロサポートクラブ会員募集

ピッコロ劇団が観客の皆様と交流を深めていくために発足したピッコロ劇団後援会(ピッコロサポートクラブ)。お得な数々の特典で、ピッコロシアターの催し物をお楽しみいただけます。これからも一層内容の魅力アップをはかります。

○ おもな特典(会員ごとに異なります)

- ・ピッコロ劇団公演へのご招待または割引、優先予約
- ・ピッコロシアター自主事業の割引、優先予約
- ・ピッコロシアター利用券(500円分)進呈
- ・ご来場回数に応じて、記念品を進呈
- ・ピッコロシアター催物案内や機関誌の送付
- ・ピッコロ劇団員との交流会へのお誘い

○ 種類と年会費及び特典

- ・A会員(個人) 6,000円
ピッコロ劇団公演 3作品に1名ご招待(同伴者1割引)
- ・B会員(個人) 2,000円
ピッコロ劇団公演の割引(ご本人・同伴者とも1割引)
- ・J会員(高校生以下の個人) 4,000円
ピッコロ劇団公演 3作品に1名ご招待(同伴者1割引)
- ・特別会員(個人) 10,000円
ピッコロ劇団公演 3作品に2名ご招待(同伴者1割引)
- ・法人会員(企業・団体) 20,000円
ピッコロ劇団公演 3作品に4名ご招待(同伴者1割引)

○お問い合わせ/詳しいご案内をお送りします!
ピッコロサポートクラブ事務局 TEL.06-6426-8088

ピッコロサポートクラブへようこそ!

ピッコロ劇団を支援して下さっている法人会員

尼崎商工会議所/尼崎信用金庫/
株式会社尼信経営相談所/尼信情報システム株式会社/
尼信ビジネス・サービス株式会社/尼信ビル株式会社/
尼信保証株式会社/尼信リース株式会社/
尼崎ホテル開発株式会社 ホテルヴィスキオ尼崎/
石光商事株式会社/株式会社柄谷工務店/
株式会社近鉄・都ホテルズ 都ホテル尼崎/
株式会社小西印刷所/学校法人園田学園/
株式会社つむら工芸/株式会社テクニカル・アート/
東洋装備株式会社/ナチュラルカフェ+b/
西北活性化協議会/株式会社日興商会/
日興油脂株式会社/公益財団法人ニッセイ文化振興財団/
株式会社ハートス/株式会社ピーエーシーウエスト/
日之出商事株式会社/ひょうご県友会神戸支部/
ひょうご県友会阪神支部/
株式会社バイ・コミュニケーションズ
今後ともご支援をお願いします。(敬称略)R4.5.29 時点

サポーターズ・ヴォイス

●ピッコロ劇団第 72 回公演/ピッコロシアタープロデュース
『脚気にしやがれ! ~近代日本最悪の病「脚気」奮闘記~』感想
(2022年2月18日(金)~20日(日))
兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール)

- ・初めて観劇しましたが、とても面白かったです。舞台装置の転換もユニーク、時間や場所も自由に移動。役者さん達の滑舌も良く、素晴らしかったです。今まで、観劇しなかったのが、残念です。
- ・医療の歴史、政治の力の中での医療者の気概、葛藤に胸打たれました。病気を誘ったのが過去現在未来全てが入りすぎるくらい盛り込まれている作品だと感じました。
- ・長いお芝居ですが最初から最後までわらうどころありで楽しかったです。それと歴史や知識も学べてすごよかったです。知人を誘ったのが誘ってくれてありがとうと感謝されました。素晴らしかったです。今の時代も、そうなのかなと色々考えました。作中は昔、でもまさしく今で、そして未来もまたきつこうなるのかなと思いました。



撮影:森口ミツル

●ピッコロ劇団オフシアターVol.38『月光のつゝしめ』感想
(2022年4月8日(金)~10日(日) 中ホール)

- ・情熱のほとばしる舞台でした。最後の月の光がさわやかで神々しく、色の繊細さが全体を引きしめて、とても良いものになっていました。記憶に残る舞台となりました。
- ・なんとなく無理をしてまたやるせない思いを抱えている人間関係、現在に通じるものがあり最後まで目がはなせませんでした。特に谷口さんの自然な演技が良かったです。中ホールは舞台との距離が近く特に大好きな劇場です。
- ・ピッコロ劇団の力とクオリティを感じる舞台でした。状況の変化に応じて関係性を変えていけない人間への奇立ちを、自分の中に再確認した 2 時間 10 分でした。



お寄せいただきましたご意見を参考に、今後もより良い作品づくりに劇団員・職員一同励んで参ります。ご観劇いただきました皆様ありがとうございました。

ピッコロシアター鑑賞劇場

ピッコロ寄席

桂枝雀一門「桂文之助の会」

稀代の爆笑王：桂枝雀の名を遺し芸を継ぐ落語会。今年には枝雀の3番弟子：兵庫県神戸市出身の文之助をメインに、筆頭の南光が、若手実力派のまん我と共に会を支えます。開口一番は、枝雀の美子りょうばが務めます。まさに枝雀のDNAを楽しめる会にご期待ください。



文之助



南光

【日時】8月13日(土) 14:00
【会場】ピッコロシアター 大ホール
【料金】全席指定 一般3,000円 高校生以下1,500円
【出演・演目】
「普請ほめ」 桂りょうば
「豊竹屋」 桂まん我
「仔猫」 桂文之助
中入
「小言幸兵衛」 桂南光
「夢の酒」 桂文之助

生演奏で紙芝居「グッドガール シンシア」

ピッコロ劇団が製作した紙芝居「グッドガール シンシア」にフルートとパーカッションが、生演奏でコラボレーション。2021年に好評を博した企画をブラッシュアップしてお届けします。

第1部は、宝塚に実在した介助犬シンシアの成長と身体障害者補助犬法が成立するまでを描いた紙芝居を、ピッコロ劇団員の吉江麻樹が朗読。生の音楽とともにのおくりします。

第2部は、室内楽コンサート フルードとパーカッションの演奏。

【日時】9月3日(土) 15:00
【会場】ピッコロシアター 小ホール
【料金】自由席 一般2,000円 高校生以下1,000円
【紙芝居・作】風太郎(ピッコロ劇団)
【朗読】吉江麻樹(ピッコロ劇団)
【音楽】川端裕美
【演奏】川端裕美(フルード)
大竹秀晃(パーカッション)

シアタースタート
民族芸能アンサンブル若駒

「はるなつあきふゆ あそぼあそぼ」

俳優が乳幼児にもなじみのある小動物に扮し、日本の四季の移ろいを、和楽器の生演奏を入れながら表現します。言葉を使わずにわらべ唄や生の和楽器も心地よい0～2歳児を対象にした作品。



【構成・演出】つげくわえ
【日時】9月30日(金) ①10:00 ②11:30
【会場】ピッコロシアター 中ホール
【料金】おとな1,000円
こども500円
*上演時間約35分
*自由席



吉江麻樹



川端裕美



大竹秀晃

ピッコロ実技教室

まわしよみ新聞&演劇ワークショップ
～壁新聞を演じてみる～

壁新聞づくりと演劇を組み合わせたワークショップ。

みんなで読んで、みんなで演じよう！

【日時】8月2日(火)10:00～16:00

【場所】ピッコロシアター 小ホール

【講師】陸奥 賢(まわしよみ新聞考案者)

本田千恵子(ピッコロ劇団)

【募集人数】要申込 先着20名(高校生以上)

【参加費】一般1,000円 高校生500円

40歳からのワンコイン演劇講座

ミドル・シニア世代で演劇に興味のある方や初心者大歓迎！1日だけの演劇講座。

【日時】8月7日(日)10:00～16:00

【会場】ピッコロシアター 中ホール

【講師】瀬口昌生(大手前大学建築&芸術学部准教授／元ピッコロ劇団員)

【募集人数】要申込 先着20名(原則40歳以上)

【参加費】500円

ちやっと！狂言～入門編～

2日間・8時間で狂言の基礎知識から簡単な実技までを「見て、聴いて、演じて」楽しめる！

【日時】8月20日(土)13:00～16:00

8月21日(日)11:00～16:00

※2日間の連続講座

【会場】ピッコロシアター 大ホール(能舞台を仮設)

【講師】大蔵流狂言方 善竹隆司・善竹隆平

【募集人数】要申込 先着30名(小学生以上)

【参加費】一般3,000円 高校生以下2,000円

オペラの楽しみ方

関西二期会オペラ研修所修了オペラ公演の作品解説とリハーサル見学

【日時】8月26日(金)13:00～17:00

【会場】ピッコロシアター 中ホール

【講師】小餅谷哲男(関西二期会副理事長)

【募集人数】先着80名

【参加費】無料(要申込)

ピッコロ演劇学校・ピッコロ舞台技術学校

令和4年度、開講しました！

今年度はピッコロ演劇学校〈本科〉〈研究科〉合わせて43名、舞台技術学校24名の入学者を迎えて、7月から開講しました。

年齢は18歳から59歳まで幅広く、学校教員、大学生、劇場関係者など、顔ぶれも多彩。他府県から片道2時間以上かけて通う学校生もいます。

バックボーンは様々ですが、皆さん少しずつ打ち解けながら和気あいあいと授業が進んでいます。学校生の熱意に応えられるよう、職員一同頑張ります！



令和4年度合同入学式

訃報

ピッコロ舞台技術学校顧問で、舞台美術家の板坂晋治先生が、2022年2月22日にご逝去されました。板坂先生には、1992年のピッコロ舞台技術学校開設時から、美術コースの主任講師としてご指導いただきました。また、ピッコロ劇団公演やピッコロ演劇学校・舞台技術学校の卒業公演の舞台美術も数多く監修していただきました。長年にわたり舞台技術者の育成にご尽力いただきましたこと深く感謝申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



の育成にご尽力いただきましたこと深く感謝申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

● お問い合わせ申込み ●
ピッコロシアター TEL 06-6426-1940
(9:00～21:00/月曜休館 ※祝日の場合翌日)
最新情報はホームページで！
<https://piccolo-theater.jp>

学



2021年12月5日、宝塚市立中央公民館で第23回身体障害者補助犬シンポジウムの収録が行われ、吉江麻樹が子どもたちによる紙芝居『グッドガール シンシア』読み聞かせの指導にあたりました。

毎年12月に宝塚市で開催されている身体障害者補助犬シンポジウム。

コロナ禍の影響で、インターネット上での開催となりました。

宝塚市在住の子どもさんたちが紙芝居『グッドガール シンシア』をリレー形式で読み聞かせする動画を作ることに、その指導にあたらせていただきました。

この紙芝居は、2002年「身体障害者補助犬法」の成立に貢献された宝塚市在住の木村佳友さんと愛犬シンシアとの実話を元に、ピッコロ劇団員の風太郎が作った紙芝居です。

読み聞かせに参加してくれたのは小学生の女の子4人。最初は緊張気味でしたが、ストレッチや顔の運動をして徐々に緊張もほぐれ、最後には見事に紙芝居をやりきってくれました！

「お友だちやおうちの方の前で紙芝居をやってみてくださいね」とお伝えしたところ、早速クラス会やお友だちをおうちに呼んでやってくださった参加者の方もいらっしゃいます！

シンシアは2006年に亡くなりましたが、参加者のお子さんたちの心の中でシンシアが生き続け「すべての人にやさしいまちづくり」がどんどん世の中に広がっていくことを心から願っています。

(吉江麻樹)



学



2022年1月16日に小野市うおい交流館エクラで行われた、やっぴようプロジェクト「にほんごであそぼう」に初めて参加した木村美憂が振り返ります。

海外の人たちと関わるのが好きで

20歳の時にカンボジアに2週間滞在し日本語学校で子ども達に日本語を教えたり、現地の人達と交流をとってボランティアをするという経験をしたことがあります。いざ行ってみると行く前に想像していたものとは違いその国で懸命に生きている人達に医者でもなく教師でもない今の私ができる事も伝えられることは何もないんだと、ただただ無力だとぼつんと感じた記憶があります。

それから早7年。「にほんごであそぼう」で外国人の方々と演劇を通してコミュニケーションが取れる場に行けることにとても感激しました。本田さんと菅原さん、制作の田窪さん、河東さんとまだ出会う前の外国人の方々を想像しながらワークショップの内容を組み立ていく時間もとてもワクワクした時間で当日は緊張よりも「わー！！！！嬉しい。こうやって外国の方々と演劇を通してふれあえるのが何より嬉しい。」とその場の空気に幸せを感じました。自分がやってきた演劇や指導というものがあの時の自分とようやく繋がった気がします。世界から日本に一人で足を踏み入れて懸命に働く外国人がもっと生きやすくそして幸せを感じられるような日本であってほしいと願います。

(木村美憂)



談



2021年12月10日～12日にメイシアターで上演されたSHOW劇場 vol.14『十二人の怒れる男』に孫 高宏と三坂賢二郎が出演しました。参加しての今の気持ちを三坂が語ってくれました。

昨年12月、メイシアタープロデュースSHOW劇場『十二人の怒れる男』

に出演させていただいた。演出のマキノノゾミさんからお声がけいただいたのはたしか春先だったか。演劇界を牽引されるお一人からのまさかのご指名に一瞬「何故自分？」となったのは鮮明に覚えている。同時に「絶対出たい！」となったのも。メンバーは関西演劇界の重鎮だらけ。作品もメンバーもまたとない機会なのだ。ワクワクしないわけがない。

秋から始まった稽古はマキノさんをはじめ、大先輩方や同年代に甘えながらの刺激的な毎日。因みに自分へのマキノノゾミ式オーダーは「なんかさあ……好い感じにやってくれ」。なので毎回の稽古で好き勝手にやらせてもらう。

ああ……今思えばみんなを困らせていたかもしれない。そんなことをおくびにも出さずお付き合い下さり、また、めっちゃ可愛がって下さった皆様に心より感謝。また呼んでください……なんてここでちゃっかり。

(三坂賢二郎)



談



2022年2月13日、孫 高宏が滋賀県立芸術劇場びわ湖ホールで朗読劇『かもめ』に出演しました。

チェーホフの『かもめ』は、僕が学生の頃、初めて手にした思い出の戯曲。当時はモスクワ芸術座の来日公演を観たり、夜行バスに乗って東京乾電池の上演を観に行ったりと、振り返れば観る機会が多かった作品ですが、取り組むのは初めてのこと。僕はト書を読むナレーションとシャムラーエフ役をやりました。演出は数々のチェーホフ戯曲を手がけてこられた、MODEの松本 修さん。なおこの催しは、滋賀県の文化芸術×共生社会フェスティバルの一環として、舞台上で台詞や情景を手話通訳したり、台詞を要約した字幕を投影したり、テレビコイル機能のついた補聴器や人工内耳を使用されている方に音声をお楽しみ頂いたり、観賞サポートの付いた上演でした。湖畔に立つ劇場で、『かもめ』という戯曲を存分に感じる事が出来ました。

(孫 高宏)



学

3月5日、6日にピッコロ演劇学校本科・研究科、ピッコロ舞台技術学校の合同卒業公演が大ホールにて開催されました。本科主任講師の山田 裕、研究科主任講師の島守辰明に振り返ってもらいました。



2年ぶりに大ホールで上演された卒業公演。なかなか試練が多かった。去年の卒公はコロナ禍の為に無く、「今年こそは」とスタートしたのも束の間、ましてオミクロン株が大流行。何度となく稽古は中断。予定変更の連続！自分も一時濃厚接触者となり、稽古場を離れなければならなかった。「今演劇を創るということは、何と不自由で、大変で歯がゆいことなんだ！」そんなことをつくづく思い知らされた公演だったと思う。

アクシデントが起こる度に奔走して下さった事務局の方々、不自由なオンラインでの打ち合わせや準備にも対応して下さった技術学校講師の皆さん。自分が不在の間稽古場を回し、本科の皆のフォローをしてくれた助手の菅原君、杏華さん、よっちゃん。他にも沢山のご協力頂いた皆さん。何とか上演の日を迎えられたのは、ひとえに皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

「演劇は一人ではできない」いつも偉そうに言っていることを心底実感できたのは貴重な収穫だったのかもしれない。限られた時間の中、それでも前向きに、チームワーク良く作品に立ち向かってくれた本科生達はそれぞれに達成感を得て、また自分なりの課題を見つけて次の道に進んでくれた様に思う。

みんな、卒業おめでとう。欲を言えばもっともっと稽古したかったですね。この経験が皆の今後の糧になり、「引き出し」の1つになる様願っています！
(山田 裕)



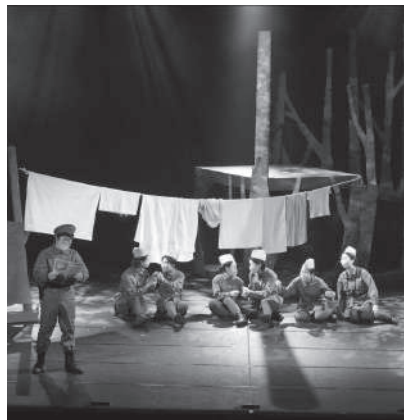
今年度の研究科では、一年を通して一つの戯曲と向き合うことを念頭に、11月の前期発表を経て卒業公演に向かいました。

昨年7月から取り組み始めたのがワシーリエフ原作「夜明けは静かだ……」。第二次世界大戦、ナチス・ドイツへ対抗するために当時のソ連軍は10万人にも上る

という志願による女性兵士部隊を編成し、後方だけでなく前線の実戦部隊として戦地へ送りました。この歴史の事実を、ノーベル平和賞を受賞したアレクセーヴィチ作「戦争は女の顔をしていない」を読むことから始め、戯曲を解釈していく作業が始まりました。

私自身はこの物語を研修していたモスクワの劇場で目にして、ある理解をしていたつもりでしたが、年を明けて勃発したのがロシアのウクライナ侵攻でした。戯曲でナチスのファシズムと戦う女性たち、今その息子の世代であるプーチン大統領率いるロシア軍がファシズムと世界中から非難されている。

戦争の「正義」という名のもとに人生を翻弄される人々。演劇は現実社会の今を抉る行為だと、改めて実感する卒業公演となりました。
(島守辰明)



談



2022年3月26～28日に伊丹のワインバーWINNERにて、D計画 ACT & LIVE『月と首長竜』に、堀江勇気が出演しました。

まずはD計画とは…。2020年にピッコロ劇団を退団された木全晶子さんが、新たに活動をするための屋号？です。お一人でやられているため屋号ですかね。縁あってお誘いいただき出演しました。演出は劇団太陽族の岩崎正裕さん、台本はかつてオフシアター『短篇集×カケル』で台本提供頂いた伊地知克介さん。さらにLIVEパートでは木全さんの社会人時代の上司である吉本哲也さんがギター演奏を。木全さんの周りでおっさん4人が暗躍する大変刺激的で楽しい座組でした。舞台美術はお店そのまま、音響も照明もなく、少人数で創り上げていく行程は何故だかなんだか懐かしく、初心に帰ることが出来たような不思議な感覚になりました。公演が終わってしばらくたちましたが、良い思い出しかありません。

木全さんの野望はまだまだ燃え上っているようです。本当に冒険野郎(ご自身でおっしゃってました。)でかっこいい先輩です。
(堀江勇氣)



談



兵庫県立ピッコロ劇団オフシアターVol.38「月光のつゝしみ」(4/8～4/10)について、演出の眞山直則に振り返ってもらいました。

「勇氣、信頼！」という名前のゲームをご紹介します。参加する人数にふさわしい広すぎないスペースを、皆で無作為に歩き回ります。そのうちの誰かひとりが、今だ！という瞬間に足を閉じて止まり「勇氣！」と叫び声ひとつ、棒のようにゆっくりと背中に倒れていく。周囲の皆は、瞬時に反応して「信頼！」とかけ声を掛けながら、その棒人間が床に無惨に転がらぬように駆けつけて、救い支え上げるのです。たいへんな危険を伴う訓練でもあります。そして俳優たちだからこそ叶う、あそびだと言えるかもしれません。

たとえるなら『月光のつゝしみ』の稽古場は、毎日がそのような現場でした。岩松了という、敬愛してやまない作家の戯曲世界。そこを歩むためには、暗闇に踏み出すように、周囲をまさぐりながら歩いてくださいと出演者にはお願いしました。ビックリされるかもしれませんが、六人は、時に恐怖にかられる共演者へ、声をかけることを決して厭わず、互いに頼り、笑い、励みながらゴールに向かっていきました。ええ、どうやら私たち人間は、わかり合えるようには出来ていないみたい。だからこそ信ずるのだと、また教えられました。
(眞山直則)



告

2022年3月末で大段満里子、金田萌果、田淵詩乃が退団しました。
2022年3月に入団試験が行われ、作文・歌唱・物言い・面接などの審査の結果、岡島大祐、木下鮎美、中島深志の3名が新しく入団しました。
それぞれに語ってもらいました。

● 岡島大祐 (おかじまだいすけ)

I'M OKAJI I'M OKAY

皆さん、はじめまして！新劇団員の岡島大祐です！愛称は、おかじーです！今年で24歳になる劇団最年少です！千葉県出身、大阪に来てから今年で13年目になります。大阪弁はまだ不完全なため、大阪弁チェッカー持ちの人にはいつもバレてしまいます…

近畿大学の舞台芸術専攻に通いながら、大学外部にて演劇・バレエ・シアターダンスを学び、大学卒業を経てピッコロ劇団に入団しました。

「グラップラー刃牙」という漫画を高校生のときに読んで以来、コカコーラを週3本以上飲むようになりました。Instagramにもコカコーラの写真を載せるほど愛しています。

どうぞ、よろしくお願いします！



● 木下鮎美 (きのしたあゆみ)

初めまして！…じゃない方もいますね。そう、3月まで職員の「木下さん」でした。(私はかつて演劇学校にもお世話になっていたのですが、ピッコロシアターの劇場／学校／劇団、全てに関わったことのある人間なのです！) それ以前はコメディ劇団に在籍していました。今でも人に笑ってもらうのは大好き！というも実は私、9歳までオーストラリアに住んでいました。帰国して学校で浮きまくり。自分が異物になったようでいつも落ち着けなかったのですが、クラスの人気者が教室を湧かせる瞬間だけは、皆と一緒に腹の底から笑って安心できました。笑いの力に救われて今日まで生きてきました。おかげで英語は得意。兵庫から世界へ羽ばたく俳優になるのが夢です！！(※出身は西宮)



● 中島深志 (なかじまふかし)

はじめまして、4月に入団しました中島深志です。滋賀県出身で、現在も片道約1時間半かけて滋賀から劇団まで通っています！京都、大阪を越えて毎日小旅行気分ですが、「滋賀から通っている」と言うともれなく全員にドン引かれます。入団前はピッコロ演劇学校にて3年間お世話になりました。舞台に関わる責任と楽しさを同時に学べた、とても大切な経験です。あと何を書きましょうか、好きな食べ物はこちら、お寿司、焼肉、特にたらこスパゲッティが大好きです。あ、三人姉妹のチラシ描きました！ぜひ手にとっていただくと嬉しいです。



動

2021年度 外部出演等-----

- 尼崎市子育てサークル実行委員会 おはなしBOX
出演=風太郎、吉江麻樹、有川理沙、金田萌果 日程=22.3.28
会場=尼崎市立すこやかプラザ
- 豊能町高山住吉神社神楽殿ライブ
司会=本田千恵子 日程=22.3.27
会場=豊能町高山地区住吉神社

2022年度 指導-----

- ビッコロ演劇学校本科
講師=山田 裕、菅原ゆうき、杏華 日程=通年
- ビッコロ演劇学校研究科
講師=島守辰明、堀江勇気 日程=通年
- 兵庫県立宝塚北高校
非常勤講師=孫 高宏 日程=通年
- 兵庫県立伊丹北高校
非常勤講師=吉江麻樹 日程=通年
- プール学院高等学校
非常勤講師=杏華、菅原ゆうき 日程=通年
- 大阪府立咲くやこの花高校
非常勤講師=木村美憂 日程=通年
- 四天王寺中学校
非常勤講師=山田 裕、櫻村千晶 日程=通年
- 甲南女子大学
第三種特任教員=本田千恵子 日程=通年
- 大阪芸術大学
非常勤講師=本田千恵子 日程=通年
- 近畿大学
非常勤講師=島守辰明 日程=通年
- クラーク記念国際高等学校芦屋キャンパス
非常勤講師=中川義文 日程=通年
- 大阪アニメ・声優&eスポーツ専門学校
非常勤講師=中川義文 日程=通年
- ホスピタリティ・ツーリズム専門学校大阪
非常勤講師=櫻村千晶 日程=通年
- ヒューマンアカデミー神戸校
非常勤講師=眞山直則 日程=通年
- エイバックス・アーティストアカデミー大阪校
非常勤講師=原 竹志、眞山直則 日程=通年
- 劇団高円養成塾
講師=島守辰明 日程=通年 会場=奈良市ならまちセンター
- 児童劇団リトル・ぐらん
講師=風太郎 日程=通年 会場=橿原市新沢地区公民館
- やんちゃんこ劇団
講師=風太郎、吉江麻樹、有川理沙 日程=通年
- コトリ会議
客員=原 竹志 日程=通年
- 豊岡市役所 新任職員対象演劇ワークショップ研修
講師=本田千恵子、中川義文 日程=22.4.5
- 西宮市立西宮高校 文化祭上演指導
講師=木之下由香 日程=22.4.18
- 関西学院大学 人文学総合授業
非常勤講師=本田千恵子 日程=22.4.18、25
- キング醸造 新入社員研修
講師=本田千恵子 日程=22.4.19
- 兵庫県立夢野台高校教育・心理類型 表現力育成ワークショップ
講師=菅原ゆうき、三坂賢二郎 日程=22.4.25
- 兵庫県立西宮北高校 文化祭上演指導
講師=山田 裕、吉江麻樹 日程=22.4.25、5.9、30、6.4
- 兵庫県立神戸鈴蘭台高校 文化祭上演指導
講師=島守辰明、吉江麻樹、今井佐知子、山田 裕 日程=22.4.26、6.3
- 西宮市立西宮東高校 文化祭上演指導
講師=島守辰明、本田千恵子、亀井妙子、今井佐知子 日程=22.4.27、5.25、6.1、11
- 関西学院大学 人文学総合授業
非常勤講師=島守辰明 日程=22.5.2、9、16、23
- 池田市立五月山児童文化センター 子どもたちのためのバントタイム講座
講師=菅原ゆうき 日程=22.5.14、6.18、7.16
- 【あつまれ！ピッコロひろば】養父市立建屋小学校 演劇ワークショップ
講師=吉江麻樹、孫 高宏 日程=22.5.16、6.20
- 兵庫県立鳴尾高校 文化祭上演指導
講師=山田 裕、杏華 日程=22.5.23、31、6.6、15
- 兵庫県立神崎高校 コミュニケーション能力育成研修
講師=本田千恵子 日程=22.6.7
- 関西学院大学 教員養成のための未来塾
講師=本田千恵子 日程=22.6.8、15
- 兵庫県立教育研修所 高等学校初任者研修(校外研修)
講師=本田千恵子 日程=22.6.9、16
- 甲南女子大学人間科学部総合子ども学科『子どもと表現』
講師=本田千恵子 日程=22.6.27
- 京田辺シュタイナー学校 教員養成講座
講師=本田千恵子 日程=22.7.23、24ほか
- ビッコロ実技教室「まわしよみ新聞&演劇ワークショップ<壁新聞を演じてみる>」
講師=本田千恵子 日程=22.8.2
- 日本の演劇人を育てるプロジェクト「エデュケーションワークショップ2022 DIEコース in 関西」
アシスタント=本田千恵子 日程=22.8.16~18

2022年度 外部出演等-----

- 尼崎市立花南生涯学習プラザ オープニングイベント
やんちゃんこ劇団朗読劇「ねこたちのぼうけん」
出演等=風太郎、岡田 力 日程=22.4.1 会場=尼崎市立花南生涯学習プラザ
- NHK BSプレミアム「決戦！源平の戦い」
出演=岡田 力 日程=22.4.9
- ひょうご県人会神戸支部20周年記念事業 健康劇「なかまと一緒に、フレイル予防」
出演=本田千恵子、杏華 日程=22.5.31 会場=パルテホール(神戸市)
- ニットキャップシアター「カレーと村民」
出演=亀井妙子 日程=22.8.24~29 会場=こまばアゴラ劇場(東京都)

ハーツグループはより多くの照明・音響・映像機材を取り揃えました

- 舞台・テレビ・ホテルイベント等の照明・音響・映像による空間演出
- イベントの企画・制作・運営・進行
- デジタルコンテンツ業務の提案及び制作
- 照明・音響・映像演出設備の企画・設計・施工・メンテナンス
- 照明・音響・映像機材・資材の販売・レンタル
- 環境事業(太陽光発電・燃料電池・省エネ機材等)のシステム設計・施工・メンテナンス

HEART-S Group (株)ハーツ (株)テクニカル・アート (株)九州ハーツ (株)沖縄ハーツ

お問合わせ先：株式会社ハーツ本社 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1丁目6番29号 フォーキャスト堺筋本町10階 TEL 06-6265-2651



シリーズ 探訪41 「貸館バック…ホール？練習室？…シアターツアー！」 劇団員 木下鮎美

前号に続き…ピッコロシアター職員→ピッコロ劇団員へと転身を遂げた木下鮎美がこっそり書き溜めていた原稿をお届けします。



ピッコロシアターへようこそ！新劇団員の木下鮎美です。鮎美ちゃんって呼んでください。

観劇にお越しの皆様、劇場は公演日以外はどうか、ご存じですか？

「稼働していないんじゃないの～？／いいえ！ピッコロシアターは、ホールや練習室を、平日・土日問わず、芸術活動の練習や発表の場として、皆様に広～くお貸ししているんです！演劇／音楽／ダンス…、個人／グループ／大所帯…、ベビー／キッズ／学生／社会人／お年寄り…。色～んな方が色～んな形で集まっていますの～！」

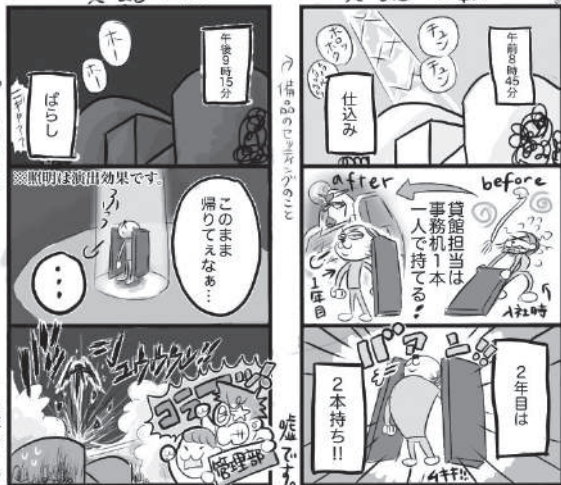
この「貸館」を裏で支えているのが、劇場職員たち。スポットライトが当たることのない、貸館の裏側の世界。この3月までピッコロシアター業務部で貸館担当として働いていた「木下さん」といふ鮎美ちゃんが、皆様にほんの少しご紹介しましょう！（たったの2年働いてただけ、言わば素人に毛が生えたようなものですが、皆様と一番目線に近いということでご容赦を）

題して…「貸館バック…ホール？練習室？…シアターツアー」！



（私信：貸館でよくお世話になったお客様。窓口・電話口でお馴染みの木下さんは劇団員になりました。ピッコロ劇団の公演も是非、観に来てくださいね！）

大嘘です。



ピッコロ劇団・劇団員

劇団代表	岩松 了	平井久美子	森 好文
劇団員	孫 高宏	本田千恵子	森 万紀
	亀井妙子	眞山直則	森 方志
	吉江麻樹	杏華	今井佐知子
	吉村祐樹	風太郎	山田 裕
	榎村千晶	今仲ひろし	島守辰明
	岡田 力	中川義文	浜崎大介
	橘 義	政香里沙	三坂賢二郎
	野秋裕香	菅原ゆうき	堀江勇氣
	木之下由香	車 貴玲	有川理沙
	木村美愛	谷口 遼	岡島大祐
	鈴木あぐり	中島潔志	
	木下鮎美		

ピッコロシアター・職員

館長	林 隆之	石井利幸	田中久一
管理部	田路勝彦	櫻井豪樹	
	鎌田奈央子	西岡宏志	古川知可子
業務部	梶原由美子	木屋村優花	山崎 寛
	山中彩希	有馬真帆	猪木明子
	田房加代	横山海大	
	小西風光	磯部 聡	新倉奈々子
劇団部	田窪哲旨	河東真未	生田祥太
	大西岳音		

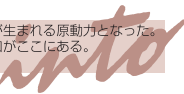
編集後記

私事で恐縮ですが、4/19に元気な女の子を出産致しました。自分が母になる日が来るなんて感慨深い。出産は想像を遥かに超えた壮絶なものでした…世のお母様方はきっと出産について1小時間は語れるドラマが其々にあるでしょう。自分の人格をも見失う痛さの先には言葉にならない感動が…出てきた我が子より大きな声で泣いてる私がいまいました。宝物を手にした私はレベルアップした勇者の気分です。(〇)

ひょんなことで10日間入院することに。コロナで面会謝絶&外出禁止。TVを付けてもウクライナのニュースに気持ちは沈むばかり。良かったことは、個室だったこと！横読してた500ページの演劇書や友人の訳したアメリカ地方都市の長編ルポや推理小説など、いっしょに読破できたのは大収穫。ゆっくり療養させてもらい、今は、元気に勤務します(可)

into (イントゥ)

かつて、私たちは壁を越えようとして、夢中で出口を探していた。それは、確かに多くの新しい舞台が生まれる原動力となった。そして今、私たちは崩壊した壁の前で直感する。演劇を体温から捉え直すことから始めよう。その入口がここにある。はからずも何かに出合い、そのことに夢中になるために。



兵庫県立尼崎青少年創造劇場(ピッコロシアター)事業運営方針

兵庫県立尼崎青少年創造劇場は、青少年の自由な創造活動を促進し、あわせて県民文化の高揚を図るため、「音楽、演劇、舞踊等の創造活動」「コミュニケーションづくり」「創造活動のための鑑賞会・研究会等の開催」「音楽、演劇、舞踊等の調査研究資料の収集・提供」などを行う目的で、1978年(昭和53)に開館しました。これまで、「ピッコロ演劇学校・舞台技術学校」の開校や、全国初の県立劇団「ピッコロ劇団」の創立・運営など、全国でも先進的な事業を行っています。

阪神・淡路大震災の経験もあって、芸術文化を人々の暮らしに欠かせない公共財としてとらえ、演劇を中心とした舞台芸術創造活動の活性化を図ると共に、多くの人たちの社会参加の機会をひろく社会的基盤として充実させるため、以下の運営方針のもとに事業を進めています。

1 上質な演劇を創造し発信します

- 専属のプロ劇団「兵庫県立ピッコロ劇団」(1994年創立)を持つ演劇の拠点劇場として、全国の劇場と連携し、優れた舞台作品の創造・発信に取り組みます。
- ファミリー劇場や学校公演など、子供・青少年向けの作品を製作し、広く地域へ届けます。
- 関西の演劇人材を結集したプロデュース作品を製作し、関西の演劇創造の活性化を図ります。
- 全国各地から発信される優れた舞台芸術を紹介し、鑑賞の機会を提供します。

2 感動を共有できる“人と場”を育てます

- “観る”喜びと“創る”喜びを体感していただける開かれた劇場を目指します。
- 舞台芸術の専門知識を持った職員が常駐し、地域の舞台芸術の創造や表現活動を支えます。
- 「ピッコロ演劇学校・舞台技術学校」が、地域の芸術文化活動を支える人材を育成します。
- 参加型のフェスティバルや実技教室、文化セミナーなど、舞台芸術の創造と交流の場を広げます。

3 演劇の力を活用して地域づくりを進めます

- 地域の文化資源の活用や、住民との協働による創造活動を進め、地域の活性化に貢献します。
- 表現力やコミュニケーション力を育むワークショップの実施や、教育現場での演劇の活用など、地域の未来を担う人材育成に貢献します。
- 舞台芸術を通して、高齢者・障害者・子育て世代など、多様な方々の地域コミュニティへの参加促進に努めます。
- 「兵庫県立ピッコロ劇団」が、様々な地域に出かけ、舞台芸術や舞台創造の感動に触れられる場を広げます。

4 幅広い参画と協働のもとに取り組みを進めます

- 舞台芸術を支える多くの方々との参画のもと、行政・自治体・地域文化団体、大学等の教育機関、他の文化施設などとの協働を促進します。
- 阪神・淡路大震災時の経験を踏まえ、東北との連携をはじめとした広域的な交流を促進し、兵庫から全国へ広く舞台芸術の魅力を発信します。

人が集う。感動を呼ぶ。
驚きがある。
そのすべてが
私たちの活躍の場です。

株式会社 つむら工藝

一級建築士事務所

大阪／〒550-0003 大阪市西区京町堀2丁目12番24号
TEL.06-6448-2761 (代)

東京／〒105-0014 東京都港区芝2丁目2番14号 (-野ビルディング5F)
TEL.03-6809-5222 (代)

工場／〒566-0064 大阪府摂津市鳥飼中2丁目8番31号
TEL.072-654-0089

<http://www.tsumura-kogei.com>

TOTAL DESIGN & PRODUCT REALIZATION

■ 事業内容

各プロジェクトの企画・デザイン・設計・製作・施工・監理・運営・進行業務

● 展示 各種美術展／資料館／他

● 施設 テーマパーク／デパート／ショップ／ショールーム／他

● 景観 シンボルモニュメント／街並演出／他

● 催事 スポーツイベント／地域イベント／式典・コンベンション／博覧会／販売促進イベント／他

● 舞台 コンサート／ミュージカル／舞台機構／演劇／オペラ／ステージショー／他

● 映像 テレビ美術／CG／CM／映画／他

総合建設業

〈関連事業〉カラタニエンジニアリング・トータルサプライ・
ゴショー・デンマークハウス・柄谷倉庫物流・
昌平・昌永不動産



“IF”から“TRY”に。

株式会社 柄谷工務店

取締役社長 柄 谷 順 一 郎



本 社／尼崎市玄番南之町4番地 電話 06(6415)2800 (大代)
支 店／大阪・神戸
営業所／西宮・高砂・西播磨